



KUMAMOTO



2014年 8月号

国際会長主題	「言葉より行動を」 "Talk Less, Do More"	Isaac Palathinkal (India)
スローガン	「今すぐやろう」 "Do it now"	
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 "Start Future Now"	岡野 泰和 (大阪土佐堀)
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 "One Asia One World"	
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other." 松本 武彦 (大阪西)	
スローガン	- こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく -	
九州部長主題	『あなたからわたしへ、わたしからあなたへ』	龜浦 正行 (熊本にし)
"Y's spirit, from you to me and from me to you for generations!"		

熊本クラブ会長主題 温故知新 -歴史を知り、再活性化へ- 吉本 貞一郎

強調月間

Youth Activities

YMCAを理解し、ユースに寄り添い、ワイズの活動を理解していくべき、身近に感じてもらいましょう。

YMCAサービス・ユース事業主任 藤本 義隆 (阿蘇)

ポニーキャンプに参加して

続 博

7月24・25日の両日、国立阿蘇青少年交流の家で開催され、24日に大村ワイズ、内田千佐子ワイズ、続ワイズの3人が参加しました。

県立盲学校の生徒さんが12名、横山ポニーキャンプディレクターをはじめ、各リーダー、松崎教頭他盲学校の先生、Yの職員あわせて46名の参加でした。11時30分、青少年の家に合流し、12時に食堂でみんなと一緒にバイキング食を共にしました。

食事の後しばらく休憩し、14時から生徒達は近くの草原でローン滑りを体験しました。プラスチック製の容器をお尻に敷き、初めはリーダーと相乗りで草原の急斜面を滑っていましたが、楽しさを味わうと一人乗りでスリルと快感を何回も繰り返し、リーダー達も大変、疲れ様でした。

はじめた頃は曇り空だった仙酔峡の大草原は、いつの間にか快晴の輝きとなっていました(真正面に高岳、少し東側に根子岳が雄大で絶景でした)。あつという間にスイカタイムとなり15:00から日陰に移動し、持参した熊本ワイズメンズクラブからのとても冷えた大きなスイカを内田千佐子ワイズが力強くカットして、みんなに振舞われました。大変甘く冷たいスイカは、ローン滑りに疲れ切った生徒とリーダー達には格別のプレゼントとなっていました。



次ページにつづく→

【今月の聖句】

「あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエスご自身が「受けるよりは与える方が幸いである」と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。」 使徒言行録20章35節

私たち、YMCAに連なる者はいつも他者のことを考え、何ができるのかを考えています。

様々なプログラム、ボランティア活動はすべてこの考えに基づいているのではないでしょうか。

近年、リーダーシップのあり方として「サーバントリーダーシップ」という概念があります。私たちは、いつも、他者ために自ら動くことを大切にすることが、すべての活動の原動力になると思うのです。(藤川 登士郎)



貰うようにアドバイスあり購入したものでした。)

スイカタイムもあつという間に終り、15時30分参加した3人のワイズは阿蘇青少年の家を後にしました。このプログラムの運営にはリーダー達の大活躍なしでは出来ません。皆さん本当にご苦労様でした。

(往復の車中では いつも口数少なめな内田千枝子ワイズがずっとご自身の思い出話を随分と語ってくれて大いに懇親が図れました。元学校の先生をされていて、特に養護学校の教員もされていた事をお聴きし、毎年ポニーキャンプに参加されているの納得しました。)



☆

大 村 豊

7月24日(木)例会の日、猛暑日ではなく、熊本市の最高気温34.6度の日、午前中の仕事をひとつ午前10時30分にやっと終えて、花畠町の私の事務所から自動車で出発しました。

第41回ポニーキャンプの開所式が、お昼前に「国立阿蘇青少年交流の家」の3階の研修室で行われましたが、私は滑り込みセーフというものでした。

熊本クラブからは、続ワイズ、内田千枝子ワイズと私が参加し、直前会長として、私があいさつをしました。この施設は今年「開所50周年」ということで、夏休みに入ったばかりだから、多くの子供達が利用していました。民間会社のものとは違った、立派な施設です。昼食は、2階の大食堂でいただきました。その眺望の素晴らしさにはびっくりしました。阿蘇の外輪山の雄大な姿が一望できるのです。リーダー25名(YMCA学院生が多く、一般的の大学生が少しという構成です)、熊本県立盲学校の生徒12名と先生方、YMCAのスタッフなどで合計40数名のキャンプです。重複障害をもった車イスの子供達は、食事に1時間かかることにも驚きました。お世話をするリーダーたちもたいへんです。

昼食後、近くの小山にのぼり、草スキー、ハンモック、ゲームなどを楽しみました。記念写真もバッチリとりました。若草の濃い匂いがして、さわやか

(このスイカは前日、廣石メネットから「弁天の湯・ユーパレス道の駅」のスイカが美味しく、事前に購入し冷蔵庫に冷やしておいて貰うようにアドバイスあり購入したものでした。)

な風がふいて、強い日差しがありました、阿蘇の夏を満喫できました。



午後3時頃に、大講堂の入口付近で、続ワイズと内田ワイズが持参した、冷えたスイカを全員でおいしく食べることができました。暑い夏はスイカが一番です。

私は時々しか参加できませんが、永く続く熊本クラブのプログラムですから、いつまでも続けねばならないと思いながら夕方の例会への出席のため山を降りました。

子供達は、夕食後、キャンプファイヤーなど盛り沢山のプログラムが続くということでした。

続ワイズの自動車での日本一周旅行のお話、内田ワイズの青森時代の「ネジバナ」の話などを聞くことができました。

7月例会報告

大 村 豊

ポニーキャンプの初日の7月24日(木)、ホテルキャッスルの地下の左側のミラーのある部屋で、亀



浦九州部長の公式訪問(合計3名)もあり、また、みなみクラブの寺田会長、木佐貫直前会長、桑原ワイズ(九州部の役員もあります)、いつもの福島ワイズのビジターをお迎えしての賑やかな新年度のキックオフ例会が開かれました。

九州部長からは、9月28日(日)の天草での九州部会のアピール、11月の合同コンペ(独身者に限られる楽しいプログラムのようです)のお話などがありました。亀浦メネット主査から11月6日の熊本地区メネット交流会(担当:むさしクラブ)のアピールが行われました。



福山連絡主事からバトンタッチした藤川登士郎ワイズの入会式が、おごそかな雰囲気のうちにすすみました。食前感謝は堤ワイズでした。

吉本会長の所信表明は、スライドを使って、熊本クラブの65年の歴史を振り返ったのですが、「YMCA恵楓園支部」、肢体不自由児療育キャンプ、子羊会、小鳩会、ポニーキャンプ、1972年のセ・テグークラブとのIBC締結などの紹介があり、吉本会長が今年度の主題を「温故知新」としたこと、「先達を師として」「豊かに生きること」「目指す事

柄」など、会長が YMCA 理事長などの機会に、YMCA とワイズの事を深く学んだことが理解できる味わいのある格調高いお話しがすすみました。

司会は米倉ワイズですが、その個性的な司会は魅力あるものでした。

「さあ、皆さん、1年間楽しくやりましょう。」という思いを共有できました。

例会スナップ



«Happy birthday»



九州部長公式訪問»



«ビジターの皆さん»



«亀浦主査 メネット国内プロジェクトアピール»

熊本地区メネット交流会
「希少難病患者」
の理解・支援
11月9日(木)
熊本むさしクラブ

第32回日韓視覚障がい青少年交流について

大 村 豊

8月4日(月)台風12号が熱帯低気圧に変化して、韓国に相当の被害を与えた翌日のくもりの日、夕方からおしめり程度の雨が降っていましたが、午後7時前に中央YMCAに歓迎レセプションに出席するため、急いで足を運んだところ、「仁川からの飛行機が台風の影響で遅れている。大邱からの皆さんは、午後8時頃に到着する」との報告がありました。

それでも、米倉ワイズの司会のもと、1階のウェルビーとリクレーションホールを使って、予定通り午後7時から歓迎会がはじまりました。

熊本YMCA管正康会長のあいさつ、吉本会長の乾杯の発声により、3分の2位の参加者により、会食がはじめました。

YMCAスタッフの真西さんがパソコンを使った写真と解説により、昨年度のプログラムの様子を報告しました。昨年の写真をみながら、なつかしいというのかあつ

という間の1年だなあと考えていると午後8時前ころ、YMCAの玄関に光明学校の皆様が到着しました。セ・デグークラブの団長はシン・スン・ファンさんで、そのメネットも一緒にです。合計16名です。



それからの交流は、いつもの通りです。なつかしい先生方やYMCAスタッフの顔や子供達の様子をみていると楽しいものです。熊本県立盲学校の学生の皆さんと先生方もなつかしく交流をしていました。

子供達の自己紹介は、日本語と韓国語を使って、「ハシ」が転んでもおかしい世代の子供達ですから、若さの素晴らしさを感じることができました。交流会は短時間でしたが、中央センターの玄関でお見送りをして、双方の学生の皆さんのが乗ったバスは、宿泊先の空港近くのエミナースへ出発しました。参加者の多くの皆様に、このプログラムの素晴らしさを実感して貰えたと思います。



8月6日(水)は、買物の手伝いが午後3時から5時まで「光の森」で行われました。ジェーンズの田中俊夫ワイズ、千代盛ワイズ、熊本むさしの吉岡メネットと田上メネットと私がお手伝いに参加しました。来熊中(熊本YMCAで研修中?)の大邱YMCAの男性スタッフ1名も協力していました。

私は、午後3時前に正門玄関に到着できずに遅刻したのですが、その施設は1、2階が店舗ですが、あまりにも広大であるため、大邱からのお客様を探すのに相当時間、一苦労も二苦労もしました。

そして、やっと光明学校の子供達と会うことが出来ましたが、あまり買物も韓国語も得意でない私は、「金魚のふん」の如く、ついて回ることしかできません。

食料品、日傘などの売場をまわり、コミックとCDの売場をまわりました。コミックでは、「黒子のバスケ」「ブリーチ」を私も探しましたが、何んとか見つけることができました。日本のコミックは、韓国の若者にも人気があるのですね。若い人の興味ある対象が少し理解できたように思います。

午後5時過ごろ、その施設の玄関でバスを見送りをし

て、お手伝いは終了となりました。YMCAのスタッフの皆さんのお手伝いはいつものことですが、感謝するばかりです。



来年は、大邱市を訪問する番です。熊本クラブの皆さん、楽しみにしていて下さい。

IBC 交流会に参加し

続 博

8/4~7、第32回日韓視覚障がい青少年交流が開催された2日目、今回の団長を務め来日されたシン・スンファン（セ・テグY,S会長）、パク・ギョンヒ（団長夫人、セ・テグY,S会長メネット）お二人を囲んでIBC交流会が辛島町東急イン地下「雑魚や」で開催されました。

熊本からは吉本会長、妻ワイズ、陳メネット、堤ワイズ、米倉ワイズ、木山ワイズ、続ワイズ、ジェーンズから千代盛ワイズ、スピリットから森川ワイズの9名が参加されました。団長ご夫婦とは、3年前、第29回日韓視覚障がい青少年交流で私が団長を努めて訪韓した折、セ・テグ主催の食事会でご一緒し、2年前の交流会でも来日され水前寺で食事をご一緒させていただき、当時の思い出写真を見ながらこの交流会の思い出話しに大変なり上がっていました。

おまけに生徒達の引率者である光明学校のウン・ピルヒ校長先生から、今、日本でも大変評判の韓国焼酎「ジンロ」（アルコール度17.5%）が数十本プレゼントされ、大いに場を盛り上げていました。（とても口当たりが良く飲みやすい為つい酔ってしまいます。）

2時間余りがあつという間に過ぎ去り、今年熊本クラブ65周年行事でセ・テグ訪問の企画があり、その折は必ず再会を約束し終了した。



2014-15年度 熊本クラブ EMC ゴール
+ 5名

更なる増員を目指しましょう。
例会へビジターをお誘い下さい。

会長徒然

感謝とお見舞、心をよせて

会長 吉本 貞一郎

熊本クラブ最大の支援プログラム、ポニーキャンプ（視覚障がい青少年キャンプ）と日韓視覚障がい青少年交流が、皆さまのご協力で多くの成果を持って無事に終了することができました。有難うございました。

私が日韓のプログラムで訪韓したのは20年前、野球の交流と音楽交流の2度です。長年続くプログラムは携わる人、もちろん私も含め、多くの青年を成長させてくれたと思います。YMCA・ワイズのプログラムを考える時、他の財政的に豊かな団体による支援プログラムと目的が違うように感じます。それは、若者の経験による成長が目的の一つとなっていることではないでしょうか。青春の1ページにボランティアとして、リーダーとして活動出来た経験は生涯の財産となるようです。今月は青年の活動やユースのYMCA・ワイズ活動への参画を強調する時です。たぶん、東日本大震災の地をはじめ世界中で多くの青年が活動を行っていると思います。その皆さんのが活動に感謝し、多くの学びがあることを期待しています。

話は変わりますが、数年前からゲリラ豪雨という表現で、その異常な気候の急変がニュースで取りあげられました。今年は、特に日本中を飛び回るように「これまでに経験した事が無い豪雨」が発生いたしました。広島での思いもよらぬ被災は、その犠牲者の多さに、驚きと悲しみを感じずにはおれません。

2年前に北部九州豪雨被害で阿蘇も土石流の被害がおこり、10年ほど前には水俣で土石流が発生しています。もちろん原因や責任を追及することも必要でしょうが、被災された皆さんに寄り添う心を忘れずにいたいものです。

日本YMCA同盟が発行するThe YMCA7・8月号に「キャンプの可逆性」（日本キャンプ協会 事務局長金山 龍也 氏）という記事がありました。

「人は本当につらいとき、すさまじい集中力で悲しみにとらわれます。だからいつもの環境を離れて、悲しみに向かう集中力が思いがけず途切れてしまうくらいの、普段とは違う経験をすることが必要です。そのための空間と時間、人の関係を粘土のように自由に形づくことができる可逆性、それこそがキャンプのすごさなのだと思います。……しかし、その素晴らしさはきちんと準備がなされたキャンプすべてに共通するもので、だからキャンプには社会を変えるちからがあると信じています。」

今後、グリーフキャンプが大きな意味を持ち、キャンペーだけでなく、リーダーやコーディネーターもともに癒される活動となると感じています。

*グリーフキャンプ

肉親の死など大きな喪失体験を経験し、深い悲しみ（グリーフ/grief）を抱えるこどもたちを対象とするキャンプ。

◇◆◇ ワイズ運営メモ [スケジュール]

月/日	(行 事)
9月	
11日	事務例会
13日	宮崎クラブ 10周年
14日	宮崎クラブチャリティゴルフ
23日	熊本 YMCA 会員スポーツ大会
25日	熊本クラブ 例会
28日	九州部会 (上天草市 亀屋旅館)
30日	熊本連絡会議
10月	
10日	熊本 YMCA 若竹寮支援 20周年

【YMCAだより】

連絡主事 藤川 登士郎

- ☆ 日韓視覚障がい青少年交流 8月4~7日
(熊本盲学校と韓国テグ光明学校の交流)

今回は、熊本から盲学校生徒6名、総勢14名の先生のご協力を頂き、無事に有意義な交流ができました。韓国からは8名の学生と5名の先生と大邱Y監事1名、そしてセ・テグ会長夫妻との楽しい交流ができました。ご協力くださったワイズの皆様ありがとうございました。

- ☆ 前進祭実行委員会 9月19日(金) 18:30~
中央YレクリエーションH

前進祭は、11月2日(日)に行われます。ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。

- ☆ 映画「日本一幸せな従業員をつくる!」
8月30日(土) 13:30開場
男女共同参画センター「はーもにー」
経営難に陥った老舗ホテルをリストラなしに従業員一丸となって起死回生に挑むドキュメンタリー映画です。(熊本Yフィランソロピー協会)
- ☆ 水前寺幼稚園が無事に8月25日(月)改修工事竣工予定で進んでおります。片付け等ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

理事通信

西日本区理事 松本 武彦



梅雨期も過ぎ夏の季節に入っています。就寝前にコップ一杯の水を飲むようになります。衣類は通気性の良い生地のものにする、室温は少し低い目にするのが良いと聞きました。各地において

夏祭りなどの催しが開かれ、夏ならではの楽しさを誇ってくれます。私の住まいする京都では祇園祭があり、烏丸通や四条通では鉢見物人の行列が左右一方通行の形でゆっくりとしか進めない大人気でした。

夏は夏なりに暑さをうまく凌ぎながら、夏風景を楽しみ、ワイズ活動を楽しみましょう。

西日本区の運営について、こころしていることは、西日本区ワイズが一体となって励まし合い力付け合いでながら、ワイズ活動を進めていくことです。このため、西日本区内において円滑な情報伝達を図り、この情報伝達を通じて他者のワイズ活動を知り我がワイズ活動を充実した力強いものとしてゆくこと、その結果として、区内のワイズが一体感を持つようになり、響き合いともに歩む、こころ豊かにワイズ活動を展開しワイズスピリットを次世代につないでいくことができると考えています。西日本区は情報伝達活動を通じて区内各クラブの活動に益するとともに各クラブの活動を力付ける働きをします。

西日本区では、7月19~20日に第1回の西日本区役員会を開催するとともに、この役員会への集合の機会を利用しての事業委員会、常置委員会、常任役員会を開催し、これによって、事業委員会については5つのすべてにおいて事業引継ぎと新年度活動の確認を完了し、西日本区新年度の具体的活動を進めてゆく状態となりました。

西日本区は、来年京都で開催されるアジア地域大会を支援するため、岩国西日本区大会のおり開催した年次代議員会での承認を得て、区費とは別に、今期と次期、各半期500円、2年間で累計2,000円の支援金を集めさせて頂くことにしております。会員のみなさまのご理解とご協力、よろしくお願い致します。

私たちワイズにとって、若者のユースコンボケーションへの派遣などのユース支援活動は若者に彼らが大きく育つ機会を与えるものとして他に誇れるワイズ活動であります。そして、このことを通じて、彼らが将来、ワイズとなって我々の活動をつないでくれるようになることは私たちワイズの願いでもあります。今期、西日本区でも、ユースコンボケーション参加報告会などをもち、我々のユース支援活動が若者を大きく育てる力強い活動であることを実感を共有できるようにしたいと思っています。

スペシャルオリンピックス日本 (SON)・熊本 支援

チャリティ上映会
「天使の譜(しらべ)」
9月14日(日) くまもと森都心プラザ
¥1,000

*益金は、11月1~3日福岡で開催される夏季ナショナルゲーム熊本選手団派遣費用に活用

'14-'15 熊本ワイズメンズクラブ 8月事務例会記録 抜粋

日時：8月7日(金)19:00～21:00＊休館日のため変更 場所：熊本中央Y紫苑会室
出席：吉本・岡崎M・岡崎Mnt・米倉・続・大村・木山・藤川・今村(出席 9名)

【協議事項】

1. 例会

- 1) 納涼ビアパーティ 8/28 19:00～21:30 司会(続) 食前感謝(未定)
 - ①実行委員会(続・米倉)
 - ②場所(城彩苑 第一部 多目的会議室 第二部 夢あかり)
 - ③招待者 Y・Yリーダー/藤川、盲学校・ボランティア/ICR 学Y/小山メンに依頼
 - ④会費 メネット3,000 ビジター3,000 未成人コメット等無料
 - ⑤ボニー・日韓の報告(会議室)と懇親会・ビアパーティ(月あかり)
- 2) 9月メネット例会 9/25 19～21時キャッスル 司会・食前感謝 未定
卓話者等：後日検討 メネットで検討。
熊本地區メネット交流会 11/6(木) むさしクラブ担当
- 3) 10月例会 10/23 19～21時キャッスル 司会・食前感謝：今後、検討。
卓話者：検討を進める。

2. 西日本区 区費納入について

3. YMCA 会員スポーツ大会(9/23祝) 協賛金、承認。参加者を募集。
4. 九州部 部会 日時: 9/28(日) 亀屋旅館(上天草市) 締切 8/28(木)
部費納入
5. プリテン原稿 8/23(土) 必〆切
7月例会報告(大村) 会長通信(吉本) ボニーキャンプ(大村・続) 日韓交流(大村)
IBC交流(続) 他クラブ訪問記(吉本) YMCA報告(藤川)
夏休みの思い出等(各自)

6. ジャガイモ 日程調整: 10/19(日) で検討中 價格確認: 従来通り
じゃが¥2000/10Kg カボ¥2500/10Kg 目標: 1000箱(共同で1500箱)

7. その他

- ・ミャンマー留学生支援 10万円 連絡網 今年も昨年同様とする。
- ・Yspa1-9登録 ・熊本ワイズ65周年記念 IBCセ・テグクラブ訪問
- ・熊本クラブEMCの取組 ・Clubファンド コーヒー・新茶販売他
- ・宮崎クラブ10周年9/13(土) 祝金1万円 コンペ商品5000円相当

【報告事項】

1. 熊本連絡会議 7/22(火) 熊本中央Y
2. ボニーキャンプ 7/24～25 阿蘇青少年交流の家 訪問: 7/24(木)
日韓視覚障がい青少年交流 8/4～7 *今年度、受入
3. YMCA
4. その他

YMCAの歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
とこしえの のぞみにもえて さかえあり
YMCA われらまた こぞりて起たん



熊本YMCAの歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の凧ぐところ
み神の愛といさおしを 称えて集う若人の
心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がり
YMCA こぞれりここに

目的

ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められております。
それには、何をおいても先ずYMCAに対する奉仕を旨とし、YMCAとのつながりを一層強め深めるための方向づけや活動方針、さらにはそのための具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕することを心がけなければなりません。

みんなのものが一つとなってワイズダムの"きずな"をより堅く結び、ともども YMCA運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Today's program

2014年8月28日 19:00～21:30

城彩苑 会議室 月あかり

8月納涼ビアパーティ例会

進行: 続Ys

ボニーキャンプ・日韓交流報告会

(城彩苑 会議室)

開会

会長

ゲスト紹介

熊本盲学校長

ご挨拶

担当Yスタッフ

ボニー報告

リーダー

日韓 報告

担当Yスタッフ

懇親・納涼ビアパーティ

(城彩苑 月あかり)

ボランティア・ビジター紹介

学生 YMCA 紹介

乾杯

(懇談)

Happy birthday & anniversary

謝辞・閉会挨拶

先月例会記録(2014.7.24)

在籍会員	30
出席会員	13
功労会員	1
広義会員	1
マイキップ	
出席率	46.4%
ゲスト	2
ビジター	8
メネット	3
コメット	
例会出席総数	26
BF(プラザーフッドファンド)	
2014年度献金(現金)	
クラブファンド(ニコニコ)	
前月残高	107,049
7月献金	16,524
7月支出	0
7月残高	123,573